

「東京オリンピック・パラリンピックに向けた 選手強化に関する事業の在り方」

平成26年11月13日

行政改革推進本部事務局

説明資料

競技力向上事業

平成24年（2012年） ロンドン大会 金メダルランキング11位（金メダル7個）
（オリンピック）

平成26年度予算額 49億円

平成27年度概算要求 117億円
2020年東京大会に向けた選手強化の充実

年度毎の中間目標が設定されていない。

目標：平成32年（2020年）東京大会 過去最多を超えるメダル数の獲得（オリンピック）

競技力向上事業

補助の在り方

～平成26年度

各競技団体に対して
同率の補助

財政事情によらず一定
割合の自己負担

平成27年度要求

一律全額補助

各競技団体の自己負担
解消

競技団体によって
財政事情は様々

黒字 23団体

(うち2団体は1億円超
の収入超過)

差額0 13団体

赤字 35団体

中央競技団体現況調査 2013 笹川スポーツ財団

補助金等の
不正受給問題

各競技団体のコンプライアンス
遵守態勢の強化を促す工夫が
必要。

ナショナルトレーニングセンターの拡充整備

利用者数、稼働率が増加傾向、東京大会に向け益々の利用増加が見込まれる
→ナショナルトレーニングセンター（NTC）の拡充整備を予定

設置場所：東京都北区西が丘（現在のNTC横）

基本コンセプト

- 東京大会でのメダル獲得
- オリ・パラ競技の共同利用

スケジュール(予定)

平成27年度(2015年度)：基本設計

平成28年度(2016年度)：実施設計

平成29年度(2017年度)：整備工事

平成30年(2018年)に完成(11月から供用開始)

平成32年(2020年)

東京大会開催

拡充整備を予定。
機能・規模は未定。

東京大会まで1年8か月。

2020年以降の
利用見込みは？